

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 16 日 (17:30 ~19:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 浦部、伊関、福山、高塚、上田、吉田、米山、藤井、古川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	2	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	5	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	7	0	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	2	2	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・サービス開始に伴い、利用者、家族の意向を理解するために、本人、家族、管理者、ケアマネージャー間で、連携、話し合いをしっかりと行っている。またその話し合いの結果を職員に伝え、事業所全体で共有し、その人にとって必要な支援を把握するとともに、生活の質の向上、尊厳ある生活を継続していただけるよう、利用者本位を第一としたケアを目指し、取り組んでいる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・利用開始前の利用者の把握、情報共有が小規模多機能型居宅介護の性質上、交代勤務、夜勤などで全員が集まれる日が少なく、記録、口頭での情報、個々の理解での判断が先行してしまうケースがある。その結果、個人に応じた適切な支援内容の見極めが不十分になるケースもある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

・課題として、十分な情報共有化ができていないことから、本人、家族の不安を受け止められる体制が不十分である。上記にも記載した通り、今後も小規模多機能の性質上全職員参加のミーティングの機会を増やすことは困難だが、少人数でのミーティングの機会を増やし、そこでの検討結果をしっかりと全職員が共有化し適切な支援が提供できるよう体制を整えていきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 16 日 (17:30 ~19:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 浦部、伊関、福山、高塚、上田、吉田、米山、藤井、古川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	5	3	1	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	7	2	0	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	3	3	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	6	2	1	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・毎月、事業所内でカンファレンス (利用者個別の会議) を実施し、ケアプラン (介護サービスの計画) の把握、ケアプランに沿った支援が出来ているかの確認を行っている。また実践で見られた利用者の変化 (身体、言動、表情、行動) を共有し、目標の実現に向けたケアとともに、いっそうの寄り添った支援を提供できるよう職員間で模索し、取り組みに繋げている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・本人の目標を目指したかかわりを実施しようとして取り組んでいるが、職員個々の情報量、経験などによるかかわりの質などもあり、利用者、職員における信頼関係の構築が不十分であるケースがある。そのことより“気づき”ができる職員とそうでない職員との差が見られ、日々のかかわりにおいて本人の満足感や達成感につながらないことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・職員間でケアの質に差がでず、かかわりの中で本人の満足感や達成感につながった支援は必ず共有し、実施できるような体制を整える必要がある。そのためには、経験豊富な職員は意識を高め指導やアドバイスを積極的に行い、また経験の浅い職員はスキルアップにつながる研修への積極的な参加をうながし、目標に向けた支援が事業所全体で提供できるようにしたい。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 16 日 (17 : 30 ~19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 浦部、伊関、福山、高塚、上田、吉田、米山、藤井、古川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	4	3	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	2	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	6	2	1	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	1	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	3	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者個々のアセスメント（課題分析）を事業所全体で十分に行い、本人の状況や状態などから、今必要なケアは何かを見極め、情報提供と意向を確かめた上で自立支援にむけた支援を提供している。</li> <li>ミーティングにおいては、日々の仕草や表情などから、利用者の代弁（声に出せない感情も含めて）を具現化できるようチームケアで支援に取り組んでいる。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>以前の暮らしを把握し、その人の生活歴、その人らしさを尊重したケアを職員全員が大切に意識して取り組んでいるが、日によっては個々のかかわりが難しく、共有した本人の気持ちや意向に沿えない支援内容になってしまうときもある。また業務が多忙を極める際は生活歴を忘れがちになってしまい、その場、その時の職員都合の対応になっているときがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のミーティング、定例会、カンファレンス等において、いかなるときも、その人らしさを忘れず、尊重した気持ちをもって接することを職員間で話し合い、記録を残し共有することを徹底していきたい。またケアの質の向上、利用者本位のケアの実現のために、これまで以上に本人の生活歴を振り返り、ケアに活かしていくという意識を上げていきたい。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 16 日 (17 : 30 ~19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 浦部、伊関、福山、高塚、上田、吉田、米山、藤井、古川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	6	0	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	2	3	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	4	3	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	2	2	2	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 生活基盤である地域での行事（お寺参りや地域のサロン）は優先的に参加して頂いており、本人のこれまでの生活スタイルを継続できるように配慮している。また家族から在宅での過ごし方、趣味や嗜好などを送迎時や日々の連絡ノートを通じて教えてもらっている。
- サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人、家族をフォローし、相談や支援などに努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 事業所での過ごし方については把握しやすいが、デイが休みの日の過ごし方や行動、通い慣れた散髪屋、馴染みの人や場所、民生委員や地域住民との関係性や地域資源の活用などについてデリカシーな部分も多く把握できていないこともある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 事業所で利用者の全てのニーズに対応することはできず、認知症になっても身体が不自由になったとしても、これまでどおり地域の中で豊かな生活を送る為には、地域の資源を活用し、必要に応じて民生委員や地域の協力を得ていく必要がある。利用者、家族との信頼関係をより一層深めていき、情報共有の中で地域の資源を把握し、必要に応じて民生委員等と連携をとりながら在宅生活をより長く継続していけるように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 16 日 (17:30 ~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 浦部、伊関、福山、高塚、上田、吉田、米山、藤井、古川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	3	2	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	3	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	2	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	3	1	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」を支援できており、またレスパイトの視点からも、利用者家族双方の意向を考慮しながらサービス利用していただいている。
- ・毎日のミーティング、定例会、カンファレンス会議、目標におけるモニタリングと、利用者のその日、その時の本人の状態、ニーズに随時対応できるよう環境づくりを行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・変化の気づき、実践の結果などを経過表や個別記録に記入。職員間の申し送りノートの活用なども含め、情報共有、介護計画の見直し等に活かしているが、よりよい支援を実現するためには些細な気づきや変化なども記録として残し、これまでは人間的な問題からニーズを満たす支援が困難なケースであっても、ケアの質の向上をもって対応していけるようにさらなる向上心を持って精進していく必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・事業所内における情報共有の周知徹底。外部支援団体（ボランティア）や地域資源（公共施設や社協）のさらなる活用。事業所だけでの支援ではなく、地域と共にチームアプローチによる支援体制の強化を図っていくために、地域での信頼を高め、サロンや出前サロン、地域活動の積極的参加、認知症相談所の設置など地域貢献に尽力していきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 16 日 (17:30 ~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 浦部、伊関、福山、高塚、上田、吉田、米山、藤井、古川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	6	3	0	0	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5	4	0	0	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4	2	2	1	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	5	2	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・医療機関とは、本人及び家人の意向を尊重し、かかりつけ医と事業所との関係作りに努めている。また適切な医療を受けられるように支援し、必要に応じて受診に同行し、本人の病状の説明等、家族とともに連携して状態を共有している。また、必要に応じて福祉用具や訪問看護を利用される為、連携を取りながら定期的に担当者会議を開催している。担当者会議には管理者を含め、4名の職員が状況に応じて参加しており、他の職員にはそこでの話し合い、報告をしっかりと行っている。
- ・地域の催し（地蔵盆、草刈、避難訓練等）については積極的に参加している。
- ・自治体や地域包括支援センターとの会議には管理者・ケアマネージャーが参加し、その後は職員間で情報共有をしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・立地的に、地域の高齢者や子供が気軽に遊びに来ることができず、定期的なサロン活動を行っているときに来所されるのが現状である。ボランティアに関しても積極的に受入れ、レクレーションや創作活動などに協力して頂いているが、その数はまだまだ少なく、PR不足である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・ボランティア募集要項について内容を絞り込んだ上で、広報紙などを用いてPRする。例えば「ボランティアさん募集」だけではなく“将棋の相手、畑の手入れ、編み物指導”など、内容をもっと具体的に記載し、ボランティアさんを募るように対応する。また、事業所の地域での知名度はまだまだ低く、アプローチも不十分であると思われる。誰もがいつでも気軽に相談でき、いつでも立ち寄れる場所になれるようにPRする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 16 日 (17 : 30 ~19 : 30)

7. 運営

メンバー 浦部、伊関、福山、高塚、上田、吉田、米山、藤井、古川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	5	0	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	2	0	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	4	0	0	9
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	5	3	1	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・日々のミーティングにおいて意見が出しやすい環境となっており、前向きな発言が多い。ストレスが溜まりやすい業種であることから、管理者が個別面談を実施することで、業務内外問わず職員の思いや提案を聴くことで信頼関係を構築するようにしている。
- ・利用者家族とは送迎時や連絡ノート、ケアマネを通じて日ごろから連携を密にとっており、家族会を設けることで、意見や要望、苦情等を運営に反映させる環境づくりをしている。
- ・運営推進会議において、委員には利用者家族の代表、地主、区長、総代、民生委員、行政の方に参加して頂いており、事業内容の報告や要望、地域の状況、環境について意見交換を行い、そこで出た意見をサービス向上や運営に活かしている。
- ・地域貢献、地域交流の一環として定期的に事業所内でのサロンや出前サロンを実施している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域から事業所に対して意見や苦情といったものは、私たちが知らないだけかもしれないがほとんど聞こえてこない。逆説的に言えば、じょいふるあいしょう (小規模多機能型居宅介護の役割) についての説明不足であり、“地域の為に存在する社会資源のひとつである” という PR 不足が原因と思われる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・加速する少子高齢化の中で、地域の中に存在する困りごとや問題点について、家族や地域・住民と共に考え、小規模多機能型居宅介護として出来る事を、管理者やケアマネージャーだけでなく、職員全体が地域に溶け込みながら、地域と共に行動、協力していけるように努める。
- ・小規模多機能型居宅介護として出来る事の PR → 意見の収集 → 相談窓口の設置

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 16 日 (17 : 30 ~19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 浦部、伊関、福山、高塚、上田、吉田、米山、藤井、古川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6	3	0	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	4	1	0	9
③	地域連絡会に参加していますか	6	3	0	0	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	4	0	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な法人研修、彦愛犬の小規模多機能部会や合同研修会の参加など職員全体の質の向上に努めている。また、認知症実践者研修等、必要と思われる研修については積極的に受講できる環境を整備し、伝達講習をしている。</li> <li>地域連絡会議に出席し事例検討会を通じてプランの向上、新たな地域資源の発掘などに努めている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>リスクマネジメントの研修は1回/年開催し、日々の業務の中で「気づき」について職員間で共有し、改善しながらサービスの質の向上に繋げているが、ヒヤリハットの件数自体は少ない状況である。</li> <li>ヒヤリハットは事故を防ぐための重要な要素であり、気づきも含めた提出の協力を促しているが、職員によって意識の違いがあり、また書類作成に時間を要することもあり報告件数増加につながりにくい現状がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハットに関しては、書きやすく出来るだけ職員の手間が省けるよう、簡易でありかつ全容の把握が誰にでもできるような書式 (フォーマット) の作成を試みる。</li> <li>家庭の用事等、研修に参加したくてもできない職員もいるため、スキルアップの機会を減らすことのないよう、定例会等での伝達講習の実施を徹底していく。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 16 日 (17:30 ~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 浦部、伊関、福山、高塚、上田、吉田、米山、藤井、古川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	2	0	0	9
②	虐待は行われていない	9	0	0	0	9
③	プライバシーが守られている	6	3	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	4	1	1	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	2	0	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念に基づき身体拘束、虐待は行っていない。また、定期的に身体拘束、人権、虐待に関する外部研修への参加、社内研修の実施と管理者、職員ともに意識を深めている。</li> <li>・一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーの保護を職員全員で徹底している。また自宅においても尊厳が守られるように、必要に応じて家族の相談援助や啓発等も行っている。</li> <li>・個人情報の管理は厳正に行い、書類等は個別ファイルに保存し、施錠付きの書庫に保管している。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度に関して、その制度の仕組みを把握している職員がすべてではなく、とくに経験の浅い職員には浸透していない。業務外であり関係のないことであると感じている職員もいる。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度等、管理者や職員は権利擁護に関する制度や目的を正しく理解し、利用者に不利益が無いように努めるため他の研修と同様に定期的な勉強会を開き学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合う必要がある。必要に応じてそれらを活用、また相談できるよう、職員全員でサービスの向上を目指していく。</li> </ul>	